

令和8年度

九州大学 大学院理学研究院 大学院理学府 理学部 概要

物理学

化学

地球惑星科学

数学

生物学

九州大学

大学院理学研究院 *Faculty of Science*

大学院理学府 *Graduate School of Science*

理学部 *School of Science*

概要

目次

CONTENTS

02	歴代部局長・運営組織図
03	役職員(執行部・部門長等)
04～07	沿革
08	研究院・学府・学部の関係・制度
09	各組織の細部構造
10	教職員配置表
11	大学院学生数・入学状況・就職状況
12	学部学生数・入学状況・就職状況
13	その他の学生数等
14	国際交流関係
15	予算、科学研究費助成事業、 各省・独立行政法人等が実施する研究プログラム等
16	社会連携事業
17	建物
18～19	配置図
20	連絡先・HPアドレス等

歴代理学部長

在任期間	氏名
昭和 14. 4. 1～昭和 15.10.11	荒川 文六 (事務取扱)
昭和 15.10.11～昭和 21. 5.20	西 久光
昭和 21. 5.20～昭和 23. 7.15	松浦 新之助
昭和 23. 7.15～昭和 25. 7.15	妻木 徳一
昭和 25. 7.15～昭和 27. 7.16	伊藤 徳之助
昭和 27. 7.16～昭和 29. 7.15	松浦 新之助
昭和 29. 7.16～昭和 31. 7.15	岡崎 篤義
昭和 31. 7.16～昭和 33. 7.15	妻木 徳一
昭和 33. 7.16～昭和 34.11.12	岡崎 篤義
昭和 34.11.12～昭和 35. 1.16	妻木 徳一 (事務取扱)
昭和 35. 1.16～昭和 37. 7.15	吉村 恂
昭和 37. 7.16～昭和 39. 7.15	吉村 豊文
昭和 39. 7.16～昭和 41. 7.15	桑原 万寿太郎
昭和 41. 7.16～昭和 43. 7.15	水野 善右工門
昭和 43. 7.16～昭和 44. 8. 5	北川 敏男
昭和 44. 8. 5～昭和 45. 4. 1	桑原 万寿太郎 (事務取扱)
昭和 45. 4. 1～昭和 45. 7.15	松浦 良平 (事務取扱)
昭和 45. 7.16～昭和 47. 7.15	松浦 良平
昭和 47. 7.16～昭和 49. 7.15	沢田 龍吉
昭和 49. 7.16～昭和 49. 9. 8	松浦 良平 (事務取扱)
昭和 49. 9. 9～昭和 51. 7.15	松浦 良平
昭和 51. 7.16～昭和 53. 7.15	神田 慶也
昭和 53. 7.16～昭和 55. 7.15	松浦 良平
昭和 55. 7.16～昭和 57. 7.15	高橋 良平
昭和 57. 7.16～昭和 59. 7.15	大橋 茂
昭和 59. 7.16～昭和 61. 7.15	森田 弘道
昭和 61. 7.16～昭和 63. 7.15	森 肇
昭和 63. 7.16～平成 2. 7.15	松田 博嗣
平成 2. 7.16～平成 4. 7.15	高島 良正
平成 4. 7.16～平成 6. 7.15	岡崎 篤
平成 6. 7.16～平成 8. 7.15	稲津 孝彦
平成 8. 7.16～平成 10. 7.15	高田 健次郎
平成 10. 7.16～平成 12. 7.15	大川 尚士
平成 12. 7.16～平成 14. 7.15	伊藤 明夫
平成 14. 7.16～平成 18. 7.15	小田垣 孝
平成 18. 7.16～平成 22. 7.15	宮原 三郎
平成 22. 7.16～平成 26. 7.15	荒殿 誠
平成 26. 7.16～平成 30. 3.31	中田 正夫
平成 30. 4. 1～令和 4. 3.31	和田 裕文
令和 4. 4. 1～令和 8. 3.31	寺崎 亨
令和 8. 4. 1～	鈴木 博

歴代大学院理学研究科長

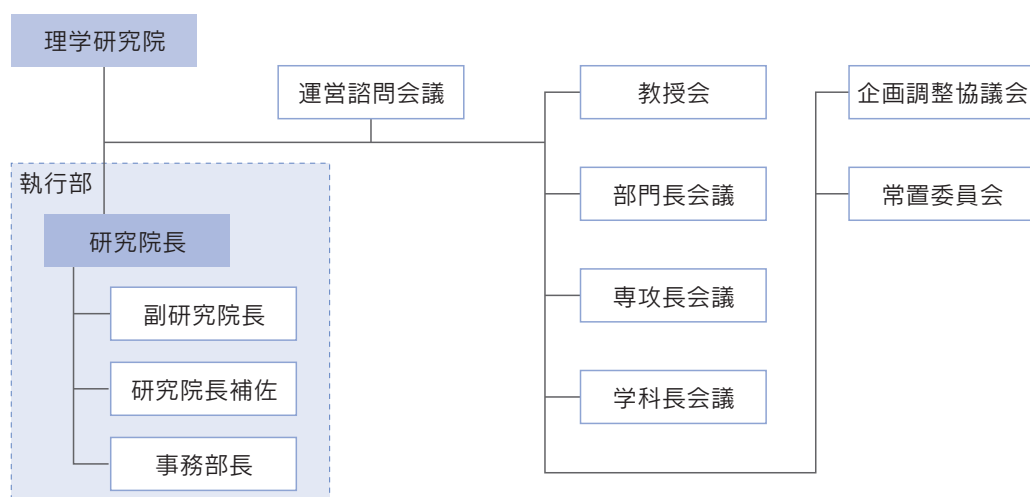
在任期間	氏名
平成 11. 4. 1～平成 12. 3.31	大川 尚士

※大学院重点化後の研究科長

歴代大学院理学研究院長・理学府長

在任期間	氏名
平成 12. 4. 1～平成 12. 7.15	大川 尚士
平成 12. 7.16～平成 14. 7.15	伊藤 明夫
平成 14. 7.16～平成 18. 7.15	小田垣 孝
平成 18. 7.16～平成 22. 7.15	宮原 三郎
平成 22. 7.16～平成 26. 7.15	荒殿 誠
平成 26. 7.16～平成 30. 3.31	中田 正夫
平成 30. 4. 1～令和 4. 3.31	和田 裕文
令和 4. 4. 1～令和 8. 3.31	寺崎 亨
令和 8. 4. 1～	鈴木 博

運営組織図 (平成16年4月～)



役職員

令和8年4月1日現在

役 職		氏 名
執行部	理学研究院長、理学府長、理学部長	鈴木 博
	副研究院長（理学研究院長代理、教務、大学院・学部教育担当）	木村 康之
	副理学部長	廣島 文生
	副研究院長（研究、財務、技術職員統括担当）	吉川 顕正
	副研究院長（教員活動評価、施設、広報担当）	松尾 直毅
	研究院長補佐（基幹教育、安全衛生、情報推進担当）	大場 正昭
	研究院長補佐（大学院・学部教育、中期目標・中期計画担当）	松森 信明
	研究院長補佐（国際交流、社会貢献担当）	山本 順司
	事務部長	山本 泰庸
評議員		鈴木 博
専攻長	物理学専攻	坂口 聡志
	化学専攻	堀 雄一郎
	地球惑星科学専攻	岡崎 裕典
部門長	物理学部門	坂口 聡志
	化学部門	堀 雄一郎
	地球惑星科学部門	岡崎 裕典
	生物科学部門	柊 亘 淳太郎
学科長	物理学科	坂口 聡志
	化学科	堀 雄一郎
	地球惑星科学科	岡崎 裕典
	数学科	神本 丈
	生物学科	柊 亘 淳太郎
	情報理学コース	山内 由紀子
附属施設長等	研究院附属地震火山観測研究センター	松本 聡
	学部附属天草臨海実験所	立田 晴記

S 沿革

ー設置改廃を中心としてー

- 1930
- 1939 九州帝国大学に理学部が設置された。
昭和14年 数学2講座
4月 「代数学及び位相数学」「幾何学」
物理学4講座
「理論物理学」「実験物理学」
「力学及び熱力学に関する応用物理学」
「光学及び電気学に関する応用物理学」
化学3講座
「無機化学」「有機化学」「構造化学」
地質学2講座
「層序学」「岩石学」の各講座が設置された。
理学部に物理学科、化学科、地質学科が開設された。
- 1940
- 1940 物理学5講座「原子物理学」
昭和15年 化学4講座「物理化学」
4月 地質学3講座「鉱物学」
数学3講座「解析学」に増設された。
- 1941 物理学6講座「地球物理学及び気象学」
昭和16年 化学5講座「分析化学」
4月 地質学4講座「古生物学」に増設された。
- 1942 理学部に数学科が開設された。
昭和17年
4月
- 1943 数学4講座
昭和18年 「応用解析学」に増設された。
7月
- 11月 数学5講座「統計数学」に増設された。
- 1944 化学6講座「生物化学」に増設された。
昭和19年
12月
- 1947 帝国大学令の一部が改正され、帝国大学が
昭和22年 国立総合大学と改められ、九州帝国大学理
10月 学部は九州大学理学部となった。
- 1949 地質学5講座「石炭地質学」に増設された。
昭和24年
1月
- 4月 理学部に生物学科が開設された。
生物学2講座「動物生理学」「細胞遺伝学」
が設置された。
- 5月 国立学校設置法が公布され、学校教育法
による国立の大学として新たに九州大学が
設置され、学部は理学部と定められた。

- 1950
- 1950 生物学4講座
昭和25年 「発生生物学」「植物生理学」に増設された。
4月
- 1951 生物学5講座「生態学」に増設された。
昭和26年
4月
- 1953 物理学科の理論物理学は「量子力学」に、
昭和28年 実験物理学は「応用物理学」に、
3月 力学及び熱力学に関する応用物理学は
「統計力学」に、
光学及び電気学に関する応用物理学は
「光学及び電磁気学」にそれぞれ改称された。
- 4月 九州大学に大学院理学研究科が設置された。
- 8月 国立学校設置法の一部が改正され、理学部
に臨海実験所が設置され、名称を九州大学
理学部附属天草臨海実験所と定められた。
- 1959 物理学7講座「物性論」に増設された。
昭和34年
4月
- 1960
- 1961 理学部に極低温実験室が設置された。
昭和36年
4月
- 1962 数学6講座「計画数学」に増設された。
昭和37年
4月
- 1963 数学7講座「計算数学」に増設された。
昭和38年
4月
- 1964 物理学科の量子力学は「素粒子理論」に、
昭和39年 原子物理学は「原子核反応学」に、
4月 統計力学は「物性理論」に、
物性論は「半導体物理学」に、
光学及び電磁気学は
「低温物理学」にそれぞれ改称された。
- 1965 物理学9講座
昭和40年 「原子核分光学」「大気物理学」
4月 地質学6講座
「非金属鉱床地質学」に増設された。
- 1966 物理学10講座「磁性体物理学」に増設さ
昭和41年 れた。
4月

1970	—1967 昭和42年 4月	物理学11講座「原子核理論」 化学9講座 「有機反応化学」「放射化学」「量子化学」に 増設された。
	6月	国立学校設置法施行規則の一部を改正する 省令が公布されて理学部附属基礎情報学研 究施設が設置され、基礎情報学第一部門「情 報理論」が開設された。
	—1968 昭和43年 4月	化学11講座 「高分子化学」「錯塩化学」 生物学7講座 「分子遺伝学」「生体物理化学」に 増設された。
1970	—1969 昭和44年 4月	化学13講座 「酵素化学」「物性化学」 生物学9講座 「生体高分子学」「代謝生理学」に 増設された。
	—1970 昭和45年 4月	生物学10講座「数理生物学」に増設された。
	—1971 昭和46年 4月	国立学校設置法施行規則の一部を改正する 省令が公布され、理学部附属島原火山観測 所が設置された。
1970	—1972 昭和47年 4月	理学部附属基礎情報学研究施設に基礎情報 学第二部門「情報方式」が増設された。
	—1974 昭和49年 4月	数学科、代数学及び位相数学、応用解析学の 2講座は、拡充改組により「代数学」、「関数解 析学」の2講座となり教官定員がそれぞれ振 り替えられた。
	—1975 昭和50年 4月	数学8講座「位相数学」に増設(拡充改組)さ れた。
1980	—1976 昭和51年 4月	数学9講座「数理解析学」に増設された。
	—1977 昭和52年 4月	理学部附属基礎情報学研究施設に基礎情報 学第三部門「情報実験」が増設された。
	—1980 昭和55年 4月	物理学12講座「地震学」に増設された。

1990	—1981 昭和56年 4月	物理学13講座「高層大気力学」に 増設された。
	—1984 昭和59年 4月	理学部附属島原火山観測所は理学部附属島 原地震火山観測所と名称が変更された。
	—1990 平成2年 4月	地質学科は地球惑星科学科と名称が 変更された。
1990	—1992 平成4年 4月	物理学科(9講座)、地球惑星科学科 (12講座)に改組された。
	—1993 平成5年 4月	化学科(12講座)となる。 (有機化学基礎研究センター設置に伴うもの)
	—1994 平成6年 4月	九州大学教養部が廃止されたこと及び大学 院数理学研究科が設置されたことに伴い、 物理学科に量子物理学(大講座)、情報物理 学(大講座)、環境物質科学の3講座が、化学 科に分子動態化学(大講座)、分子設計化学 (大講座)の2講座が、数学科に数学の学科目 が、生物学科に細胞機能学(大講座)、生態科 学(大講座)の2講座が増設された。なお、生 物学科の生態学講座は比較社会文化研究科 に振り替えられ、数学科の代数学、幾何学、 解析学、関数解析学、位相数学、統計数学、計 画数学、計算数学、数理解析学の各講座は数 理学研究科に振り替えられた。

■学科の講座数変遷一覧

年	学科	物理	化学	地惑	数学	生物	計	備考
昭和13.4								学部創設
14.4	4	3	2	2		11		物理、化学、地質の3学科新設
15.4	5	4	3	3		15		
16.4	6	5	4	3		18		
17.4								数学科の新設
18.7	6	5	4	4		19		
18.11	6	5	4	5		20		
19.12	6	6	4	5		21		
24.4	6	6	5	5	2	24		生物学科の新設
25.4	6	6	5	5	4	26		
26.4	6	6	5	5	5	27		
34.4	7	6	5	5	5	28		
36.4								数学科拡充改組
37.4	7	6	5	6	5	29		
38.4	7	6	5	7	5	30		
39.4								物理学科拡充改組
40.4	9	6	6	7	5	33		
41.4	10	6	6	7	5	34		化学科拡充改組
42.4	11	9	6	7	5	38		生物学科拡充改組
43.4	11	11	6	7	7	42		
44.4	11	13	6	7	9	46		
45.4	11	13	6	7	10	47		
49.4								数学科拡充改組
50.4	11	13	6	8	10	48		
51.5	11	13	6	9	10	49		
55.4	12	13	6	9	10	50		
56.4	13	13	6	9	10	51		
平成 4.4	9	13	12	9	10	53		
5.4	9	12	12	9	10	52		
6.6	12	14	12		11	49		

S 沿革

ー設置改廃を中心としてー

—1996
平成8年
5月— 理学部附属基礎情報学研究施設が廃止・転換された。(大学院システム情報科学研究科の設置に伴うもの)

—1998
平成10年
4月— 大学院理学研究科の重点化(2-1)により教育研究組織を大学院に移行した。

物理学専攻、化学専攻の2専攻を、3専攻に改組整備された。

■基礎粒子系科学専攻:

粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論の3大講座

■分子科学専攻:

有機化学系、物理化学系、生物化学系の3大講座と物質変換化学の1協力講座

■凝縮系科学専攻:

凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学、集合系無機化学、集合系分子化学、集合系物理化学の6大講座と物理有機化学の1協力講座

理学部の物理学科に「物理学」、「情報理学」のコースを設け2大学科目、化学科に「化学」の1大学科目が設置された。

—1999
平成11年
4月— 大学院理学研究科の重点化(2-2)により教育研究組織を大学院に移行した。

理学研究科の地球惑星科学専攻、生物学専攻の2専攻が、再編成された。

■地球惑星科学専攻:

生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環科学、固体地球惑星物理学の5大講座と地震学・火山学の1講座

■生物科学専攻:

動態生物学、情報生物学、分子集団遺伝学、生体物理化学、生体高分子学の5大講座と海洋生物学の1講座

理学部の地球惑星学科に「地球惑星科学」の1大学科目、生物学科に「生物学」の1大学科目が設置された。

数学科に「数学」の1大学科目が設置された。

2000

—2000
平成12年
4月— 全学大学院重点化の完了とともに、「研究院」制度を導入し、大学院の教育研究組織である「研究科」を再編し、大学院の教育組織である「学府」と教官の所属する研究組織である「研究院」が設置された。

「大学院理学府」に5専攻24講座2協力講座を置く

■基礎粒子系科学専攻:

粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論の3大講座

■分子科学専攻:

有機化学系、物理化学系、生物化学系の3大講座と物質変換化学の1協力講座

■凝縮系科学専攻:

凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学、集合系無機化学、集合系分子化学、集合系物理化学の6大講座と物理有機化学の1協力講座

■地球惑星科学専攻:

生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環科学、固体地球惑星物理学の5大講座と地震学・火山学講座

■生物科学専攻:

動態生物学、情報生物学、分子集団遺伝学、生体物理化学、生体高分子学の5大講座と海洋生物学講座

理学研究科附属天草臨海実験所が理学府附属臨海実験所に転換された。

「大学院理学研究院」に4部門22講座を置く

■物理学部門:

粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論、凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学の6大講座

■化学部門:

無機化学系、分子集合系、集合物性系、有機化学系、分子構造系、生物化学系の6大講座

■地球惑星科学部門:

生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環科学、固体地球惑星物理学、地震学・火山学の6大講座

■生物科学部門：

動態生物学、情報生物学、統合生物学、海洋生物学の4大講座

理学研究科附属島原地震火山観測所が理学研究院附属地震火山観測研究センターに拡充改組された。

「理学部」は、平成11年度と同様5学科6学科目を置く

—2003 「大学院理学府」が次のとおり改組された。

平成15年 ■地球惑星科学専攻：

■4月

固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地震学・火山学講座と地球惑星博物学の1協力講座

■生物科学専攻：

動態生物学、情報生物学、統合生物学の3大講座と海洋生物学講座(大学院システム生命科学府の設置に伴うもの)

「大学院理学研究院」が次のとおり改組された。

■地球惑星科学部門：

固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地震学・火山学講座

—2004 国立大学法人九州大学となった。

平成16年

■4月

「大学院理学府」が次のとおり改組された。

■凝縮系科学専攻：

物理有機化学講座(協力)を担当する先導物質化学研究所物質化学部門の「理論・計算化学」分野の教員の工学府への移籍に

伴い、兼任を縮減

—2008 「大学院理学府」が次のとおり改組された。

平成20年 ■基礎粒子系科学専攻、分子科学専攻、凝縮系

■4月

科学専攻の3専攻が改編され、物理学専攻と化学専攻となり、生物科学専攻はシステム生命科学府に移行した。

3専攻10講座2協力講座を置く

■物理学専攻：

粒子宇宙物理学、凝縮系物理学、多体系物理学、新領域物理学の4大講座

■化学専攻：

無機・分析化学、物理化学、有機・生物化学の3大講座、先導物質化学の協力講座

■地球惑星科学専攻：

固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地球惑星博物学の協力講座

「大学院理学研究院」が次のとおり改組された。

■物理学部門：

基礎粒子系物理学、物性物理学の2大講座

■化学部門：

無機・分析化学、物理化学、有機・生物化学、複合領域化学の4大講座

理学府附属臨海実験所が理学部附属天草臨海実験所に改組された。

—2011 「大学院理学府」が次のとおり改組された。

平成23年 ■物理学専攻：

■4月

粒子宇宙論、粒子物理学、物性基礎論、量子物性、複雑物性の5大講座

■専攻の講座数変遷一覧

年月	専攻	基礎粒子系	分子科学	凝縮系科学	地球惑星科学	生物科学	計	備考
平成10.4		3	3(1)	6(1)	12	12	36(2)	大学院重点化(2-1)
11.4		3	3(1)	6(1)	6	6	24(2)	大学院重点化(2-2)
12.4		3	3(1)	6(1)	6	6	24(2)	学府・研究院制度導入
15.4		3	3(1)	6(1)	4(1)	4	20(3)	地球惑星科学専攻、生物科学専攻改組
16.4		3	3(1)	6(1)	4(1)	4	20(3)	国立大学法人化

※()は他部局からの協力講座で外数

■専攻の講座数変遷一覧

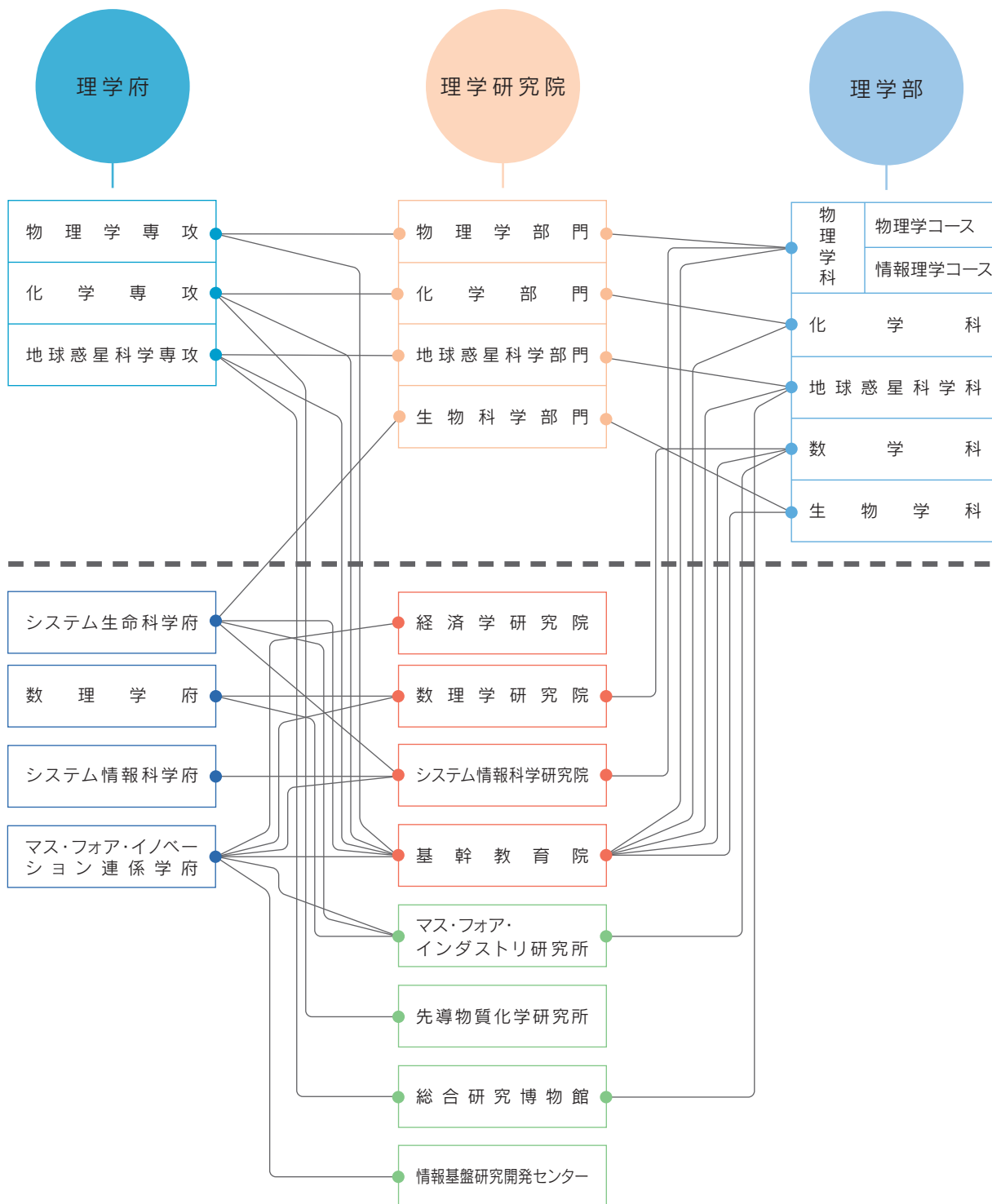
年月	専攻	物理学	化学	地球惑星科学	計	備考
平成20.4		4	3(1)	3(1)	10(2)	学府の改組
平成23.4		5	3(1)	3(1)	11(2)	物理学専攻改組

※()は他部局からの協力講座で外数

■部門の講座数変遷一覧

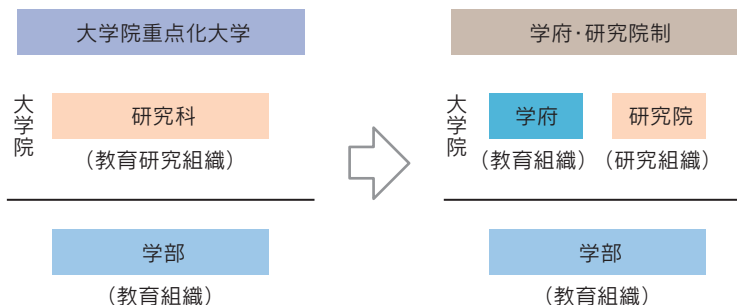
年月	部門	物理学	化学	地球惑星科学	生物科学	計	備考
平成12.4		6	6	6	4	22	学府・研究院制度導入
15.4		6	6	4	4	20	地球惑星科学部門改組
16.4		6	6	4	4	20	国立大学法人化
20.4		2	4	4	4	14	物理学部門、化学部門改組

■ 研究院・学府・学部の関係



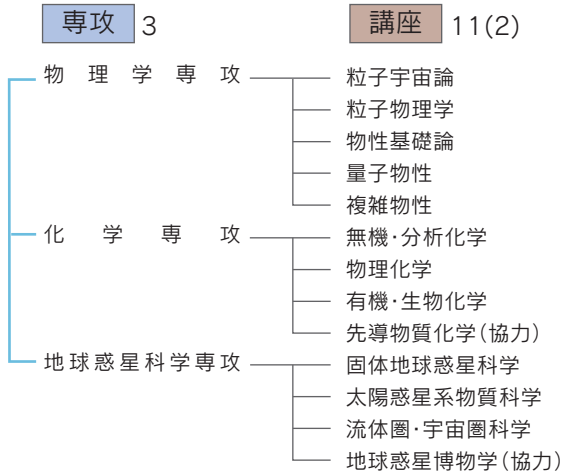
■ 学府・研究院制度

九州大学では、平成12年4月の「全学大学院重点化」の完了と共に、「学府・研究院制度」を設けた。これに伴い、平成12年度に大学院理学研究科を、大学院の教育研究組織としての「理学府」と教員の所属する研究組織である「理学研究院」に分離し、相互に柔軟な連携のできる体制とした。



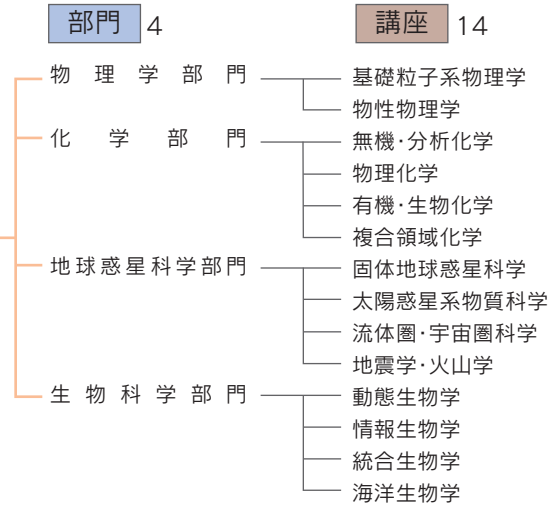
各組織の細部構造

大学院理学府 (理学府長)



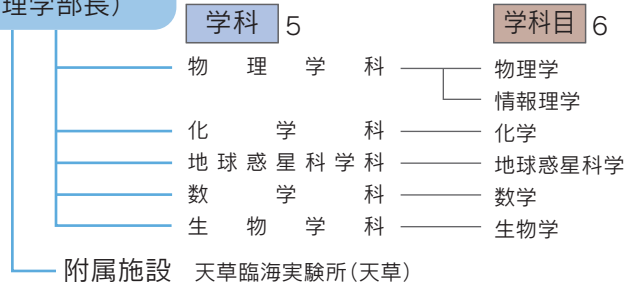
※()は他部局からの協力講座で外数

大学院理学研究院 (理学院長)

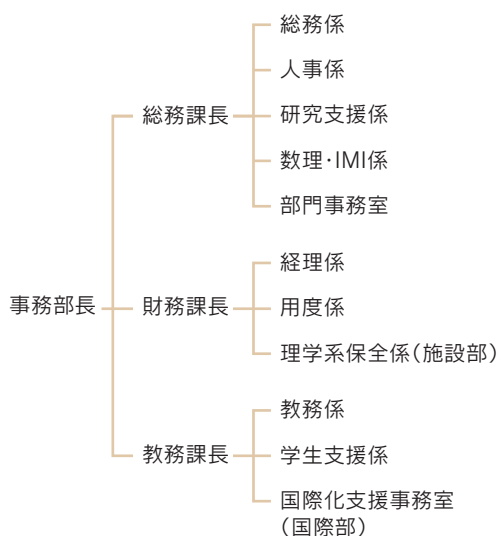


附属施設 地震火山観測研究センター(島原)

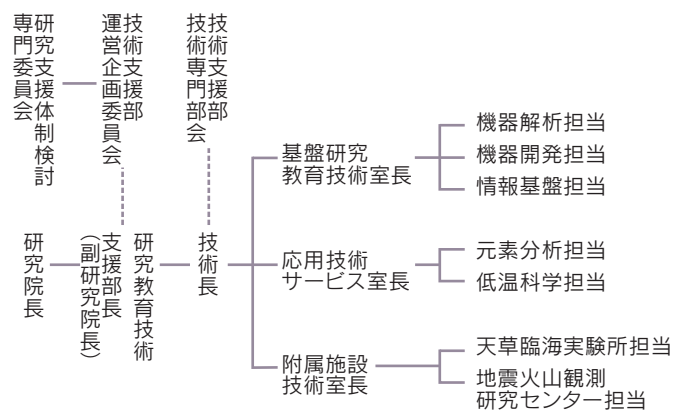
理学部 (理学部長)



事務組織



理学研究院 研究教育技術支援部



教職員配置表

令和8年5月1日現在

区 分		教 員					事 務 職 員 ・ 技 術 職 員			合 計
		教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	事 務 職 員	技 術 職 員	計	
物 理 学 部 門	現員	12	12	1	15	40				40
化 学 部 門	現員	12	12	3	17	44				44
地球惑星科学部門	現員	13	10		10	33				33
生 物 科 学 部 門	現員	10	6	5	15	36				36
研究院附属地震火山 観測研究センター	現員	{1} (1)	(2)		(1) 1	{1} (4) 1		2	2	{1} (4) 3
学部附属天草臨海 実 験 所	現員	(1)	(1)		(1)	(3)		1	1	(3) 1
物 理 学 科	現員							1	1	1
化 学 科	現員							1	1	1
地 球 惑 星 科 学 科	現員							1	1	1
極 低 温 実 験 室	現員						1	2	3	3
中央元素分析所	現員							3	3	3
附 属 工 場	現員							3	3	3
情 報 基 盤 室	現員							1	1	1
事 務 部	現員						44		44	44
計	現員	{1} 47	40	9	58	{1} 154	45	15	60	{1} 214

備考：現員欄の{ }は客員で外数、()は部門所属教員の兼務者数

■ 大学院学生

■ 定員・在籍者数

令和8年5月1日現在

区 分		修士課程		博士後期課程			計
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
物 理 学 専 攻	定 員	41	41	14	14	14	124
	在 籍 者 数	52	48	19	16	7	142
化 学 専 攻	定 員	62	62	19	19	19	181
	在 籍 者 数	70	72	12	18	15	187
地 球 惑 星 科 学 専 攻	定 員	41	41	14	14	14	124
	在 籍 者 数	44	38	12	9	13	116
計	定 員	144	144	47	47	47	429
	在 籍 者 数	166	158	43	43	35	445

■ 学位授与者数

令和8年4月1日現在

■ 理学修士 6,992名

■ 理学博士

旧制学位	新制学位		合計
	課程博士	論文博士	
208名	1,502名	732名	2,442名

	博士課程	論文博士	計
令和5年度	21	1	22
令和6年度	24	0	24
令和7年度	26	1	27

■ 入学状況(春期入学)

■ 専攻

令和8年4月1日現在

区 分		入学定員	志願者	合格者	FR学生	分子システム デバイス学生	入学者	
							本 学 出身者	他大学 出身者
修士課程	物 理 学 専 攻	41	75	52	—	—	51	12
	化 学 専 攻	62	83	70	—	—	65	17
	地球惑星科学専攻	41	55	47	—	—	44	7
	計	144	213	169	—	—	160	36
博士課程	物 理 学 専 攻	14	9	8	11	—	18	1
	化 学 専 攻	19	4	4	2	—	6	3
	地球惑星科学専攻	14	4	4	4	—	8	2
	計	47	17	16	17	—	32	6

■ 選抜方法(春期入学者)

区 分		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
修士課程	一般選抜	150	137	156
	社会人特別選抜(化学)	0	0	0
	飛び級(化学)	0	0	0
	外国人特別選抜	0	5	4
博士後期課程	一般選抜	20	36	29
	社会人特別選抜(4月入学)	0	0	0
	外国人特別選抜	1	1	3

※飛び級(化学)は「学部3年次在籍学生を対象とする特別選抜(化学)」の略、社会人特別選抜とともに平成6年度から実施

■ 大学院(修士課程)修了者産業別就職状況

令和7年度修了者

項 目	修了者数	大学院(博士後期課程)進学者数	就職希望者数	就職決定者数	製造業																		卸売業・小売業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業	公務	その他													
					1 農業・林業	2 漁業	3 鉱業・採石業・砂利採取業	4 建設業	5 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	6 繊維工業	7 印刷・関連連業	8 化学工業・石油・石炭製品製造業	9 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業	10 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業	12 電気・情報通信機械器具製造業	13 輸送用機械器具製造業	14 その他の製造業	15 電気・ガス・熱供給・水道業	16 情報通信業	17 運輸業・郵便業	18 卸売業									19 小売業	20 金融業	21 保険業	22 不動産取引・賃貸・管理業	23 物品賃貸業	24 学術・開発研究機関	25 法務	26 その他の専門・技術サービス業	27 宿泊業・飲食サービス業	28 生活関連サービス業・娯楽業	29 学校教育	30 その他の学校教育・学習支援業	31 医療業・保健衛生
学 府	理学府	141	32	109	105	0	0	0	1	3	1	0	13	3	2	11	8	5	2	1	24	3	6	0	1	0	1	0	2	0	9	0	1	2	0	0	0	1	0	3	1	1	0

注) 専門職学位課程を含む

■ 教育職員免許状申請件数(学府)

令和7年度

免許状	免許状の種類		件数
中 学 校	専修	理科	5
高 等 学 校	専修	理科	11

学部学生

定員・在籍者数

令和8年5月1日現在

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	計
物 理 学 科	定 員 55(2)	55(2)	55(2)	55(2)	220
	在 籍 者 数 59	55	63	73	250
化 学 科	定 員 62(2)	62(2)	62(2)	62(2)	248
	在 籍 者 数 69	65	71	83	288
地球惑星科学科	定 員 45(2)	45(2)	45(2)	45(2)	180
	在 籍 者 数 49	47	47	58	201
数 学 科	定 員 50(2)	50(2)	50(2)[5]	50(2)[5]	200[10]
	在 籍 者 数 51	53	62	74	240
生 物 学 科	定 員 46(2)	46(2)	46(2)	46(2)	184
	在 籍 者 数 50	50	48	68	216
計	定 員 258(10)	258(10)	258(10)[5]	258(10)[5]	1,032(40)[10]
	在 籍 者 数 278	270	291	356	1,195

()は、国際理科学コースの募集人員で内数

[]は、3年次編入学定員で外数

卒業生数

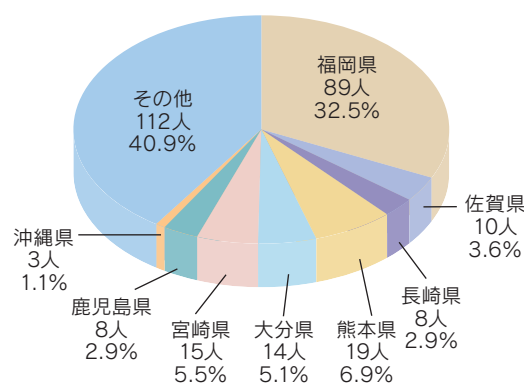
令和8年4月1日現在

区 分	旧制	新制 (前年度まで)	令和 7年度	累計 (新制)	累計
物 理 学 科	194	3,733	63	3,796	3,990
化 学 科	198	4,105	58	4,163	4,361
地 質 学 科	89	381	-	381	470
地球惑星科学科	-	1,565	49	1,614	1,614
数 学 科	117	3,341	55	3,396	3,513
生 物 学 科	9	2,870	45	2,915	2,924
計	607	15,995	270	16,265	16,872

(備考)平成2年度に地質学科は地球惑星科学科に名称変更

入学者の地域別人数 (九州各県とその他)

<令和8年度>



入学状況

学科

令和8年4月1日現在

区 分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者
物 理 学 科	55	829	653	60	59
化 学 科	62			73	69
地球惑星科学科	45			52	49
数 学 科	50			53	51
生 物 学 科	46			51	50
計	258	829	653	289	278

入学者選抜方法 <令和8年度>

一般入試(前期日程) ※国際理科学コース入試含む

一般入試(後期日程)

帰国生徒選抜

外国人留学生入試(4月入学)

総合型選抜Ⅱ

学部3年次編入学人数

区 分	令和6年度	令和7年度	令和8年度
物 理 学 科	3	1	4
数 学 科 [5]	3	4	4
計	6	5	8

学部卒業生産業別就職状況

令和7年度卒業生

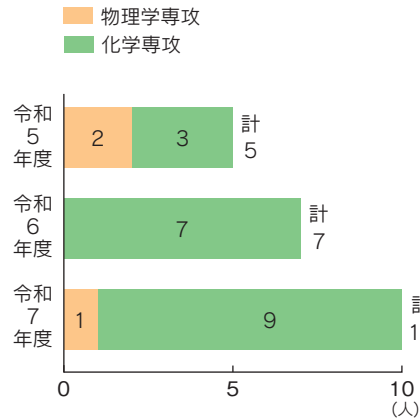
学 部	項 目	製造業														卸売業・ 小売業	不動産業・ 物品賃貸業	学術研究・専門・ 技術サービス業	教育・ 学芸文芸業	医療・ 福祉	サービス業	公務																				
		卒業者数	大学院修士・博士前期課程 進学者数	就職希望者数	就職決定者数	1 農業・林業	2 漁業	3 鉱業・採石業・砂利採取業	4 建設業	5 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	6 繊維工業	7 印刷・同関連業	8 化学工業・石油・石炭製品製造業	9 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業	10 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業	12 電気・情報通信機械器具製造業	13 輸送用機械器具製造業	14 その他の製造業	15 電気・ガス・熱供給・水道業	16 情報通信業	17 運輸業・郵便業	18 卸売業	19 小売業	20 金融業	21 保険業	22 不動産取引・賃貸・管理業	23 物品賃貸業	24 学術・開発研究機関	25 法務	26 その他の専門・技術サービス業	27 宿泊業・飲食サービス業	28 生活関連サービス業・娯楽業	29 学校教育	30 その他の学校教育・学習支援業	31 医療業・保健衛生	32 社会保健・社会福祉・介護事業	33 複合サービス事業	34 宗教	35 その他のサービス	36 国家公務員	37 地方公務員
理学部		270	221	42	35	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	8	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	8	1	0	0	0	6	1	2	0
物理学科		63	55	6	3																																					
化学科		58	52	6	5				1							1				1																						
地球惑星科学科		49	39	8	6				1											4																						
数学科		55	37	17	16				1									1		2		1																				
生物学科		45	38	5	5														1								1															

教育職員免許状申請件数 (学部)

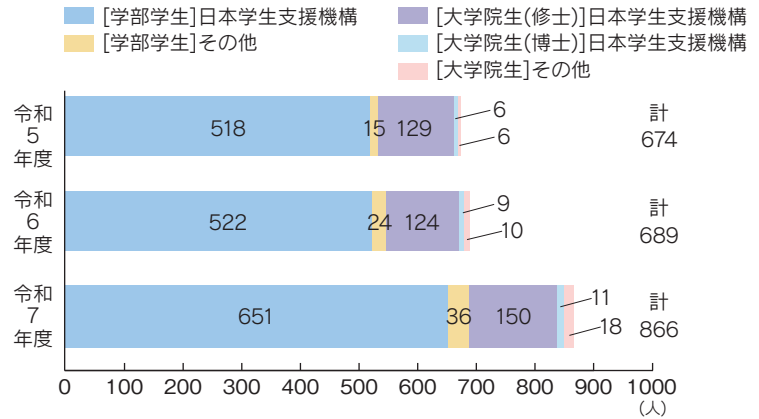
令和7年度

免許状	免許状の種類	件数
中 学 校	一種	理科 11
		数学 16
高 等 学 校	一種	理科 19
		数学 21
		情報 3

■ 研究生数

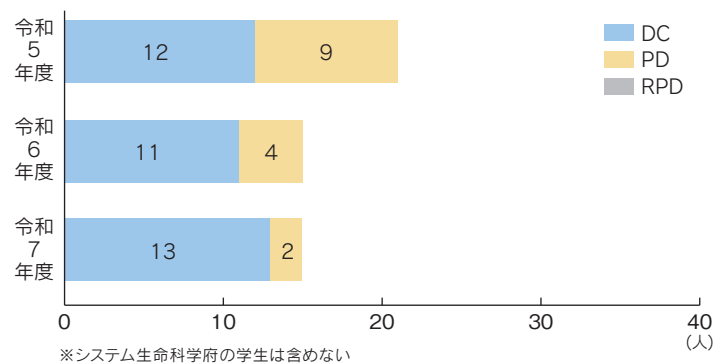


■ 奨学生数



■ 日本学術振興会特別研究員

各年度4月1日現在

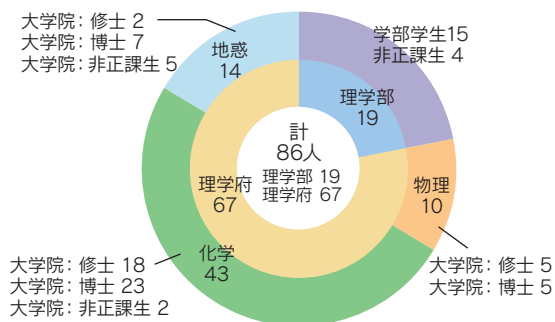


■ 外国人留学生

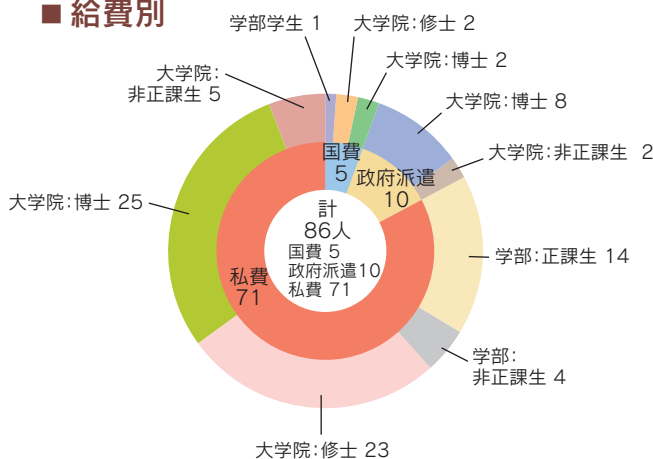
令和8年5月1日現在

※非正課生（研究生、特別聴講学生、特別研究学生）を含む

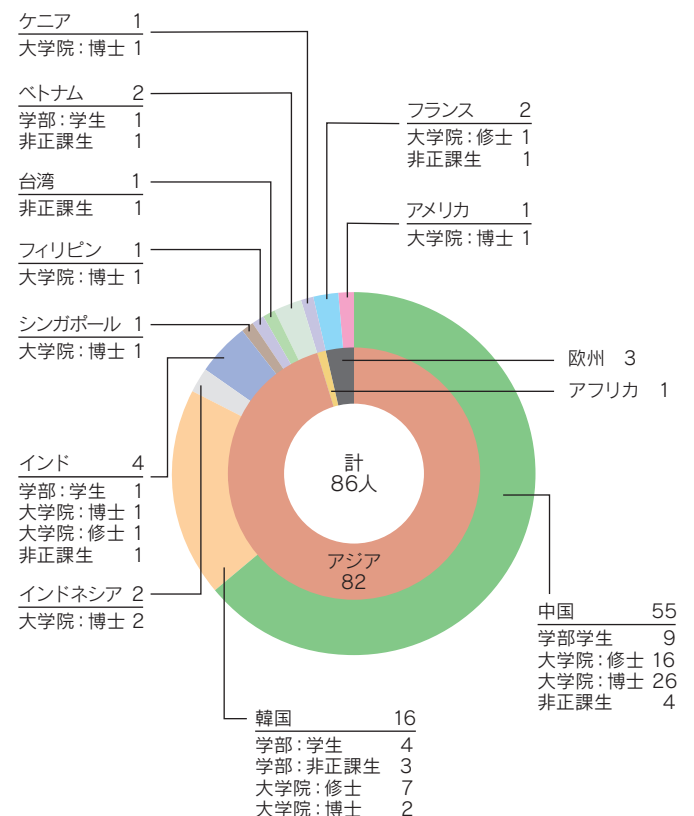
■ 課程別



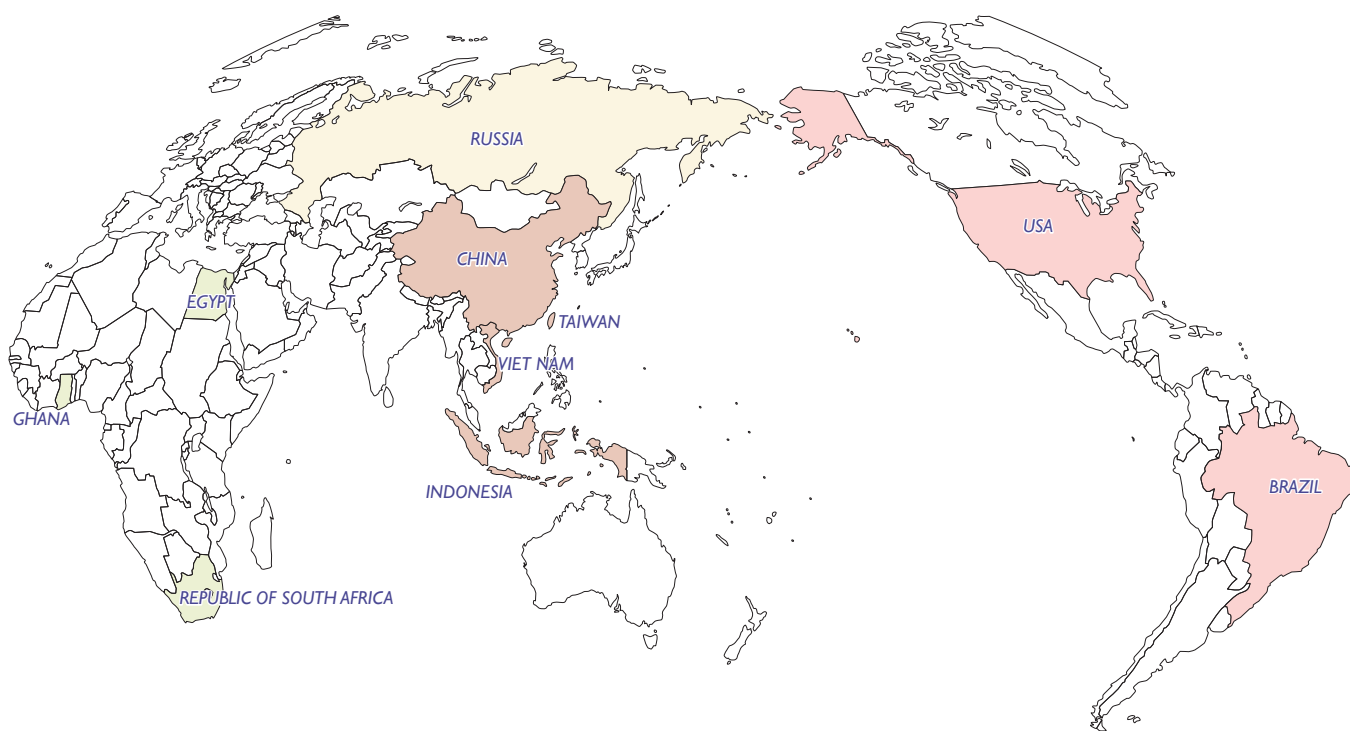
■ 給費別



■ 国別



国際交流協定締結一覧〔10カ国・地域、17機関〕



①締結相手機関名 ②部局名 ③締結年月日

Asia

インドネシア 2

① ガジャマダ大学大学院工学研究科
(ダブル・ディグリー・プログラム実施協定)
②理 ③2017.3.31 2022.3.31更新

① サムラトランギ大学水産海洋科学学部
②理、シス生 ③2023.3.1

中国 2

① 大連理工大学 ②理、工、シ情
③2012.12.26 2025.5.1更新

① 中国科学院西双版纳热带植物园
②理、シス生 ③2023.11.1

ベトナム 2

① ダラット大学生物学部
②理、シス生 ③2018.12.1 2024.3.12更新

① ビズップ・ヌイバ国立公園
②理、シス生 ③2018.12.1 2024.3.12更新

台湾 2

① 国立台湾大学生命科学部
②理、シス生 ③2025.1.1

① 国立成功大学バイオサイエンス・バイオテクノロジー学部及び理学部
②理、シス生 ③2025.3.1

① 国立台湾師範大学理学院
②理 ③2025.7.1

Africa

ガーナ 1

① ガーナ大学理学部
②理 ③2015.11.3 2020.11.3更新

南アフリカ 1

① ヨハネスブルグ大学理学部
②理 ③2018.10.2 2023.10.1更新

エジプト 1

① メノフィヤ大学理学部
②理 ③2012.3.18 2022.4.1更新

Americas

アメリカ 1

① オレゴン州立大学理学部、農学部
②理 ③2017.2.17 2022.2.9更新

ブラジル 1

① ミーナスジェライス連邦大学地球科学部
②理 ③2016.2.26 2021.2.26更新

参考) 理学部等関連施設

ロシア 2

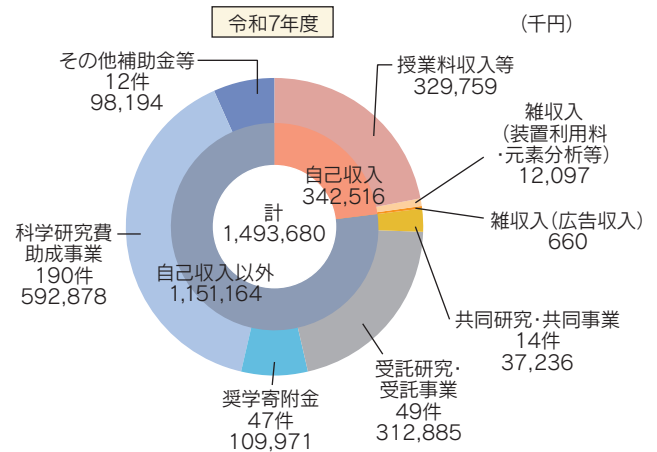
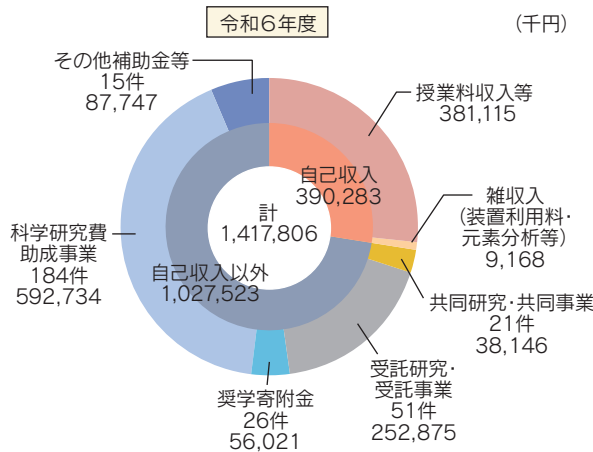
① ロシア科学アカデミーシベリア支部ヤクート科学センター Yu.G.シャファー宇宙物理・超高層大気物理学研究所
②国際宇宙 ③1999.4.6 2024.4.17更新

① ロシア科学アカデミー極東支部宇宙物理学・電波伝播研究所
②国際宇宙 ③2019.3.27 2024.3.27更新

エジプト 1

① エジプト天文地球物理学研究所
②国際宇宙 ③2019.4.1 2024.4.1更新

予算 ※科学研究費助成事業は継続の直接経費を含む



科学研究費助成事業

研究種目	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	申請 (件)	採択 (件)	金額 (千円)	申請 (件)	採択 (件)	金額 (千円)	申請 (件)	採択 (件)	金額 (千円)
特別推進研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別研究促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術変革領域研究 (A)	25	8	186,800	18	3	7,200	29	8	40,400
学術変革領域研究 (B)	1	1	11,600	0	0	0	4	3	23,900
基盤研究 (S)	1	0	0	2	0	0	2	0	0
基盤研究 (A)	10	3	41,900	8	3	35,000	10	3	28,200
基盤研究 (B)	23	7	40,000	29	14	71,500	27	11	74,200
基盤研究 (C)	27	12	17,400	22	10	13,600	25	9	11,600
挑戦的研究 (開拓)	3	1	3,900	4	0	0	1	1	12,000
挑戦的研究 (萌芽)	25	3	7,200	22	6	15,800	36	3	7,300
若手研究	9	6	11,000	7	2	3,000	11	9	16,400
研究活動スタート支援	3	3	3,300	3	2	1,900	6	3	2,800
研究成果公開促進費	1	0	0	0	0	0	0	0	0
国際共同研究加速基金	4	1	3,400	6	1	1,300	1	0	0
ひらめき☆ときめきサイエンス	—	—	—	1	1	450	1	0	0
合 計	132	45	326,500	122	42	149,750	153	50	216,800

※申請件数は本学から申請した課題のみ計上。
(申請期限日に本学に在籍した者を対象とする) 採択件数、金額は当該年度新規採択課題 (直接経費) のみ計上 (年度途中の転入/転出課題含む・当該年度4月1日以降に在籍した者)。
※教員のみ
※「挑戦的研究 (開拓)」・「挑戦的研究 (萌芽)」・「国際共同研究加速基金」については平成29年度より開始
※「若手研究」については平成30年度より開始
※「学術変革領域研究」については令和2年度より開始

各省・独立行政法人等が実施する研究プログラム等

省・独立行政法人等の名称	プログラム等名称	令和5年度分	令和6年度分	令和7年度分
文部科学省	研究開発施設共用等促進費補助金 (ライフサイエンス研究の振興 (ナショナルバイオリソースプロジェクト))	2	2	2
経済産業省 (中国経済産業局)	成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech事業)	1	1	
独立行政法人日本学術振興会	二国間交流事業 (共同研究・セミナー)	3	2	
	学術研究動向調査研究等	1	1	2
独立行政法人環境再生保全機構	研究拠点形成事業	2	2	1
	環境研究総合推進費			1
国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業 (CREST)	2	2	1
	戦略的創造研究推進事業 (さがけ)	2	4	3
	戦略的創造研究推進事業 (ERATO)	2	2	2
	戦略的創造研究推進事業 (ACT-X)			2
	未来社会創造事業	2	1	1
	創発的研究支援事業	4	3	3
	国際科学技術協力基盤整備事業 (日本-台湾研究交流)	1	1	
	ムーンショット型研究開発事業	1	1	1
	大学発新産業創出基金事業	1	1	
	研究成果展開事業		1	
	国際青少年サイエンス交流事業 (さくらサイエンスプログラム)			1
	インド若手研究人材招へいプログラム		1	1
	インド若手科学頭脳循環プログラム			1
	革新的先端研究開発支援事業	1		
国立研究開発法人日本医療研究開発機構	創薬基盤推進研究事業	1	1	1
国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構	オープンイノベーション研究・実用化推進事業	1	1	2
国立研究開発法人生物系特定産業技術研究支援センター (生研支援センター)				
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)	1	1	1
国立研究開発法人森林研究・整備機構	農林水産研究推進事業	1		
国立研究開発法人情報通信研究機構	データ活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発	1	1	
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	NEDO先導研究プログラム/未踏チャレンジ		1	1
独立行政法人国際協力機構	資源分野の人材育成プログラム (資源の絆) における特別プログラム		1	
	東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトフェーズ2に係る事務支援業務 東ティモール国立大学工学系大学院設立能力強化 (地質・石油学科)	1		

※継続課題を含む ※再委託事業を除く

予算、科学研究費助成事業、各省・独立行政法人等が実施する研究プログラム等

社会連携事業（令和7年度）

1 自然科学啓発事業（一般市民向け公開講座、公開講演会等） 2件

学科名	事業テーマ
数 学	公開講座「現代数学入門」
生 物 学	九州大学理学部生物学科公開講座

2 先端科学普及事業（高校等への出張講義・模擬講義等） 延べ24校

学科名	出張講義等先	学科名	出張講義等先
物 理	福岡県立城南高等学校 筑紫女学園高等学校	地球惑星科学	熊本信愛女学院高校 宮崎県都城泉ヶ丘高校・附属中学校 学校法人駿河台学園 駿台予備学校 筑紫女学園高等学校 福岡県立明善高等学校
化 学	福岡県立筑前高等学校 福岡県立戸畑高等学校 久留米信愛中学校 大分県立中津南高等学校 西南学院高等学校 東京都立小松川高等学校 筑紫女学園高等学校		東福岡高等学校 福岡舞鶴高等学校・誠和中学校 福岡県立明善高等学校 熊本県立済々黉高等学校
	福岡教育大学附属福岡中学校 福岡県立修猷館高等学校 静岡県立磐田南高等学校	数 学	
		生 物 学	長崎県立佐世保西高等学校 筑紫女学園高等学校 鹿児島県立鶴丸高等学校

3 高校教育支援特別事業（スーパー・サイエンス・ハイスクール事業等への協力等） 3校

学科名	受入高校
物 理 学 科	福岡県立三池高等学校
化 学 科	福岡県立三池高等学校
地球惑星科学	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校
数 学 科	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校
生 物 学 科	熊本県立天草高等学校

4 先端科学体験事業（体験入学等） 4件

学科名	受入高校
物 理	体験物理学 ～物理の世界を体験しよう～
化 学	Quriesプログラム 「ナノバーコードを作る ～分子で識って、レーザーで見るナノワールド～」
地球惑星科学	Quriesプログラム 「ミクロな世界で火山灰を観察しよう」
	受験生のための地球惑星科学科1日体験入学

5 中等教育担当教員研修事業

学科名	事業テーマ
物 理 学	中等教育理科担当教員のための リカレント教育
化 学	
生 物 学	
数 学	九州・山口地区 大学・高校数学科入試連絡会

6 エクセレント・スチューデント・イン・サイエンス育成プロジェクト （ESSP ver.2）

参加学科名	参加高校生		
化 学	8名 （化学4名、 生物4名）	福岡県 大分県 佐賀県	3名 4名 1名
生 物 学			

建物

建物

令和8年5月1日現在

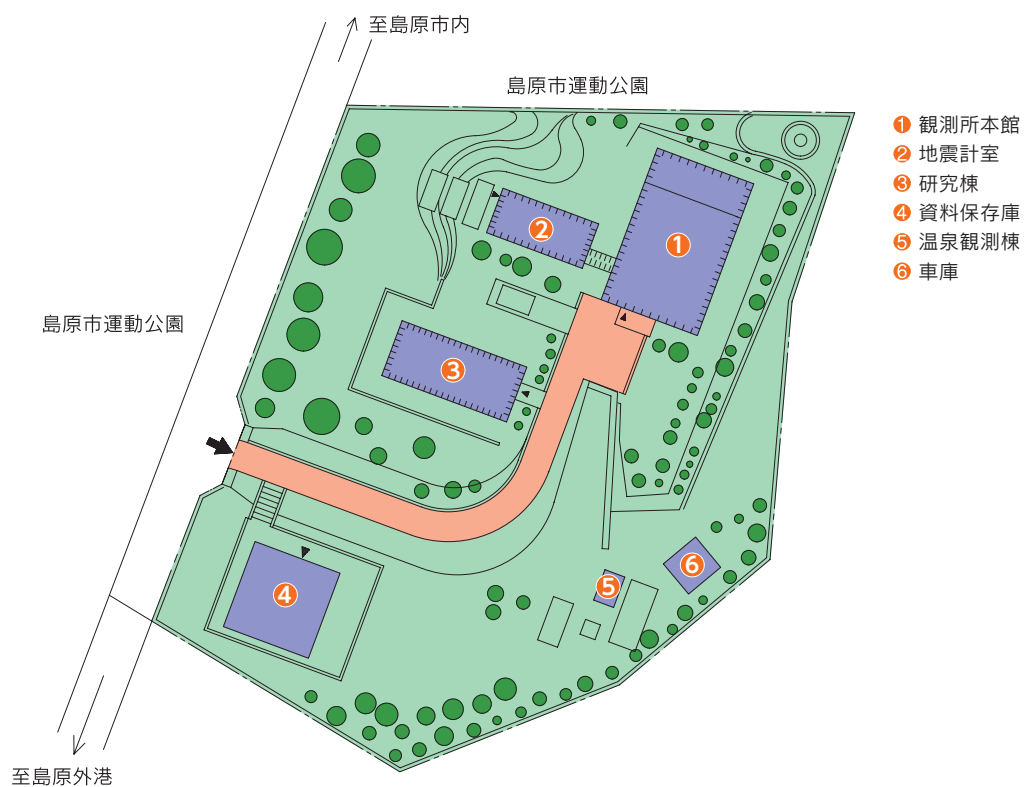
名称	取得年数	構造	面積		所在	備考
			建(㎡)	延(㎡)		
ウエスト1号館	H.27	SRC10	7,278	52,579	福岡市西区元岡744番地	物理、化学、地惑、数学、生物、事務
講義棟・生活支援施設	H.27	RC3	1,109	1,918		
低温センター	H.19、26	S1、RC1	631	655		学内共同利用 (極低温実験室含む)
国際宇宙惑星 環境研究センター	H.26	RC2	237	449		学内共同利用
アイソトープ統合安全管理センター	H.26	RC5-1	863	3,436		学内共同利用
伊都地区実験室	H.26	RC5-1	863	3,436		学内共同利用
加速器・ビーム応用科学センター	H.20、26	RC1、RC2	2,754	2,856		学内共同利用
計			12,872	61,893		
地形変動観測所	R.8	S1	9	9	福岡市中央区西公園	
計			9	9		
地震火山観測研究センター	S.42	B1	84	84	島原市新山2丁目	
地震計室	S.42	B1	84	84		
研究棟	S.47	RC1	144	144		
本館	S.56	RC1	334	316		
温泉観測棟	S.49	B1	13	13		
資料保存庫	H.13	S2	159	318		
その他	H.20	S1	32	32		車庫
計			766	907		
天草臨海実験所	S.48、54	RC2	572	1,026	熊本県天草郡苓北町	(倉庫含む)
研究棟	S.59					
学生宿舎	S.48	RC2	293	479		
職員宿舎	H.8	RC2	170	316		
標本室	H.22	S1	52	52		
ウィンチ小屋	S.59	W1	20	20		
地震観測棟	S.59	B1	4	4		
その他	S.13、59、 R.8	RC1、S1 B1	150	150		ポンプ室、受水槽室、 倉庫、車庫、 コンプレッサー室
計			1,263	2,049		
合計			14,935	64,883		

S 配置図

伊都地区



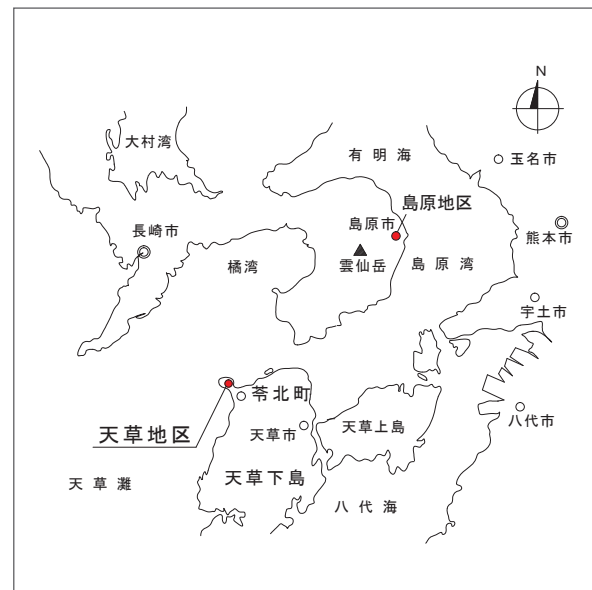
理学研究院附属
地震火山観測研究センター(島原)



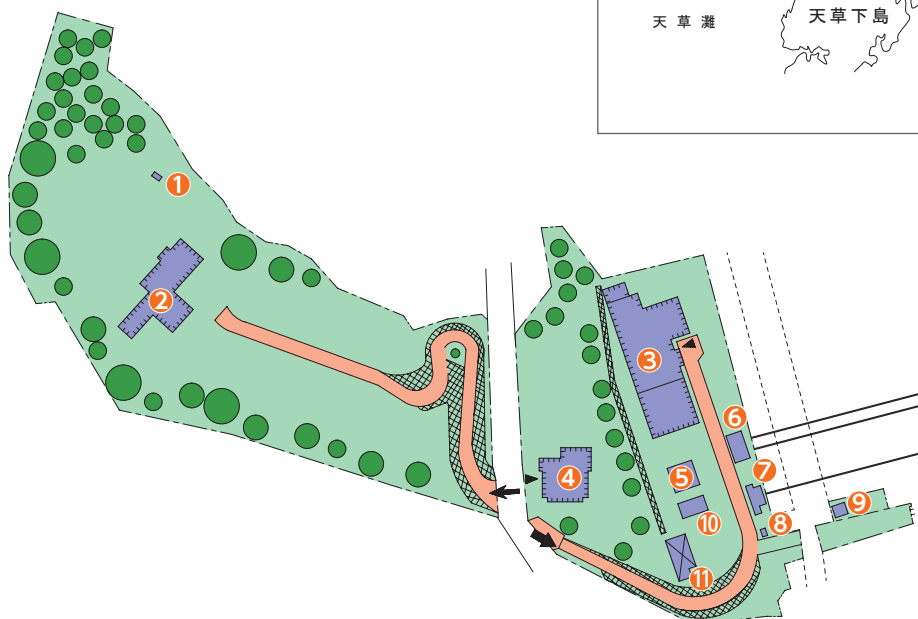


- ① 加速器・ビーム応用科学センター
- ② 低温センター
- ③ アイソトープ統合安全管理センター
- ④ 国際宇宙惑星環境研究センター
- ⑤ ウェスト1号館 (理学系研究棟)
- ⑥ 講義棟・生活支援施設
- ⑦ 椎木講堂

案内図



理学部附属 天草臨海実験所・
職員宿舎・短期学生寄宿舍 (天草)



- ① 地震観測棟
- ② 学生宿舎
- ③ 研究棟
- ④ 職員宿舎
- ⑤ 標本室
- ⑥ ポンプ室・受水棟室
- ⑦ 倉庫
- ⑧ コンプレッサー室
- ⑨ ウィンチ小屋
- ⑩ 車庫
- ⑪ 倉庫

大学院理学研究院・大学院理学府・理学部

〒819-0395

福岡市西区元岡744

TEL:092-802-4003 FAX:092-802-4005

地震火山観測研究センター

〒855-0843

長崎県島原市新山2-5643-29

TEL:0957-62-6621 FAX:0957-63-0225

天草臨海実験所

〒863-2507

熊本県天草郡苓北町富岡2231

TEL:0969-35-0003 FAX:0969-35-2413

ホームページアドレス

九州大学

<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

大学院理学研究院/大学院理学府/理学部

<https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/>

地震火山観測研究センター

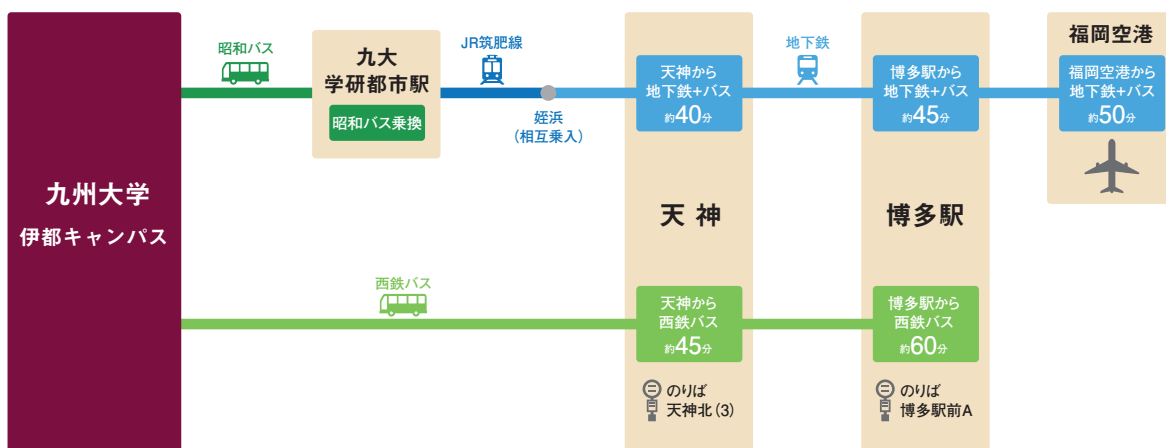
<https://www.sevo.kyushu-u.ac.jp/>

天草臨海実験所

<http://ambl-ku.jp/>



交通アクセス



福岡空港から

- 福岡空港→(地下鉄空港線)→地下鉄「姪浜駅」(JR筑肥線へ乗換)→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 福岡空港→(地下鉄空港線)→「博多駅」→「博多駅前A」停留所から直行バス(西鉄バス「[急行] 九大総合グラウンド」行に乗車)→「九大理学部」下車

JR博多駅から

- 「博多駅」(地下鉄空港線:姪浜・唐津方面行き乗車)→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 「博多駅前A」停留所から直行バス(西鉄バス「[急行] 九大総合グラウンド」行に乗車)→「九大理学部」下車

天神から

- 「天神駅」(地下鉄空港線:姪浜・唐津方面行き乗車)→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 「天神北(3)」停留所から直行バス(西鉄バス「[急行] 九大総合グラウンド」行に乗車)→「九大理学部」下車



九州大学

大学院理学研究院・大学院理学府・理学部